

# 議会だより



おどりの練習 多可町音頭 オーレ! (中町幼稚園)

## 6月定例会

- シカ対策! 試験的に囲い網を ▶ 2~
- 杉原谷小学校の大改造 ▶ 3~
- 公益法人に町職員派遣 ▶ 4~
- 北播磨の病院はどうなる など11人が質問 ▶ 8~

# 温水プールの改修設計 老朽化に対応

6月定例議会は、6月11日から25日までの15日間の日程で開催されました。  
平成19年度補正予算、条例改正や、平成18年度の補正予算（専決）などが提案され、全て原案どおり可決しました。

## 主な内容

### 補正

- ・財産管理費、修繕費を100万円増額します。

これは、4月より、副町長理事等、役職名が変更になったので、看板等を変える必要が出たためです。また、庁用バスの修理などがあります。

- ・宿日直業務委託料を43万5,000円減額します。3区の単価が違っていたので調整しました。

- ・有害鳥獣防除事業補助金として、1,328万円増額します。各集落の要望に対処します。

- ・たくさん鹿が集まる場所に、試験的に囲い網を設置します。

材料費として36万円増額します。

- ・きた保育所に31万5,000円で冷凍庫を購入します。老朽化また故障等、修理がきかなくなったので新しく購入します。

- ・交通安全施設費を300万円増額します。

八千代区ガルテン八千代周辺街道のセンターライン等で、消えている箇所があります。今年の夏まつりは、8月16日

八千代区であります。安全面からも、修繕工事も含めて、ラインを引きなおします。

- ・芸術鑑賞補助金として、18万6,000円を増額します。今年度八千代中学校が、兵庫



腐食がめだつ温水プール

芸術文化センターの「わくわくオーケストラ」へ行きます。その時のバス代です。

- ・温水プール調査設計委託料として、800万円を増額します。温水プールは平成3年に建設。老朽化や修理の必要な所も多くあるので、大規模改修のための調査・設計をします。

19年度・20年度の2年間で、工事をする計画です。

- ・中学校備品購入費として、1,700万円増額します。19年度当初、コンピュータ機器などをリースで更新する予定でした。しかし、合併特別債の対象となったため、購入することに決定しました。

## 専 決

### 税条例の一部改正

・たばこ税が10000本につき今まで3,064円だったのを3,298円に引き上げます。

・株式等の譲渡所得等に係わる課税の特例が、平成20年から21年まで延長されます。

保険料に関する個人の町民税の課税の特例として、今まで国内の保険会社に支払った保険料が控除の対象となっていました。今後、国外の保険会社に支払った保険料も、控除の対象となります。

### 反対討論

#### 庶民増税、金持ち 優遇には反対

辻 誠一

今回の改定は、地方税法の改正に伴うもので、住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置は評価できませんが、株取引で得た利益への課税を50%軽減する措置の延長など、庶民には負担増を押しつける一方で金持ち優遇には賛成できません。

### 平成18年度一般会計補正

歳入歳出に、27万7,000円を追加しました。総額は119億3,051万6,000円になりました。

額の確定により、特別交付税が、1億5,520万円増額となります。そのため、財政調整基金繰入金を、1億5,497万6,000円減額しました。

## 人 事

### 人権擁護委員

吉田純子さん(加美区寺内)

の推薦に同意しました。

任期は3年です。

### 多可町固定資産評価員

戸田敏博さん(西脇市西脇)

の選任に同意しました。

## 工 事 請 負 契 約

### 杉原谷小学校校舎 大規模改造工事

#### 大規模改造工事

建築以来30年を経過し、雨漏り・ひび割れ・壁紙のはがれ・キュービクルの腐食・屋外アスファルトの陥没などが進み、大変危険な状態にあります。

17年度に耐震補強工事は終了しているものの、大規模改造が合併により延期となりました。

したが、今年度工事着手できるようにになりました。

合併特例債を活用して、エレベーターの新設や、侵入者防止対策に出入り口の変更とコンピュータ室を除く全教室を改修します。

#### 請負金額

2億8,875万円

#### 請負業者

姫路市 三和・イマナ力建設共同企業体

#### 工期

平成19年9月30日まで

大河丘陵活性化施設建設工事(変更)

#### 契約金額

8,442万5,250円

#### 請負業者

加東市 ヨリフジ建設㈱

#### 工期

平成19年7月13日まで

主な変更内容は、空調設備を8基、喫茶室の流し台および給湯設備を追加します。

防災行政無線通信設備工事(変更)

#### 契約金額

3億4,337万2,050円

#### 請負業者

パナソニックSSエンジニアリング㈱ 関西社

#### 工期

平成19年8月31日まで

主な内容は、加美区内中継局を一局追加します。金蔵山中継局の地盤が弱いので、強化します。



大規模改造がはじまる杉原谷小学校

# 条例

多可町職員の公益法人等への派遣条例

条例で定める団体等で、その業務の全部または一部が町の事務または事業と密接な関連があり、また町がその施策を推進するため、人的援助を行うことが必要なときに職員を派遣します。

今回は、社会福祉協議会へ職員1名を派遣することが対象ですが、これについて活発な質疑が行われ、次のような討論の結果、賛成多数で可決しました。



より一層の福祉の充実を

## 社協のあり方にも踏み込んだ議論を

高澤 栄子

職員を派遣する以前の問題として、地域福祉を担う社会福祉協議会のあり方や運営についての突っ込んだ議論が必要です。ただ単に職員を派遣すれば解決するという問題ではなく、行財政改革の面から言っても、流れに逆行するものです。

## 民間団体への職員の派遣には反対

河崎 一

行政分野の縮小、行政サービス全体の市場化テストされるという時代です。行政がこれらの分野から撤退することは、行政のスリム化にもつながります。今後の公共部門の縮小に合わせてNPO等の重要性が増してきます。NPO等の育成・支援策こそ重要ではないですか。

反対

VS

賛成

## 社協のあり方にも踏み込んだ議論を

池田 義孝

この条例は職員派遣全般にわたるものであって、社会福祉協議会への派遣に限るものではありません。確かに社協への派遣に適応させるべきかは、今後議論を尽くす必要があります。現下において、社協の運営を麻痺させないためにこの条例適用もやむをえません。

## 社協の基盤強化と行政との連携を

大西 一好

社協の現体制は、本部支部併せて職員は10名、嘱託4名、介護事業10名、ヘルパー40数名で町内の介護支援体制を構成しています。職員数を合併前の12名体制にしないと、年々増え続ける介護量への対応が困難です。今後の介護予防に向けて社協の体制基盤を整えるため派遣は必要です。

## 従来の社協の責務の一体化を

大西多津子

3町合併による多可町の社協の福祉施策を一本化するところが大きな課題です。包括支援センターは、有資格の保健師さんなど、医療の谷間、介護保険の谷間の福祉を必要とされている住民のコーディネートをしつかりしていただきたい。そのため町職員の対応も必要です。その観点から賛成いたします。

## 一口メモ

公益法人等って  
今の段階では、社会福祉協議会と農林業公社だけです。  
派遣期間はどれくらい  
基本的には3年です。派遣先団体との合意で、派遣職員の同意があれば5年まで延長できます。

○多可町集落営農施設条例の制定  
地域の農業振興と農産物の付加価値の増大および、品質向上を行うためのものです。

○多可町防災行政無線通信施設条例の一部改正  
八千代区の無線施設新設および、加美区をデジタル方式に変更するため、中継局の増設や遠隔制御装置・屋外受信局の追加等が必要となったためのものです。

多可町の防災行政無線網の工事は6月末で全て完了し、7月より町内全域で同時案内ができるようになりました。

# 国民健康保険税

## 上限53万円が 56万円に

### 〔改正内容〕

- ①国保税医療分の上限額が53万円から56万円になります。
- ②賦課割合の見直しは、国民健康保険税の課税額のうち、資産割額は、特に持ち家率の高い農山村等町村部においてその必要性が認められています。ただ、以前から比べますと、全国的な社会構造の変化等に伴い、多可町でも資産割額の課税されない世帯が3分の1を超える状況になっています。
- ③固定資産税への賦課割合の減少分を、平等割の値上げで補てんします。

賛成多数で可決しました。

しかし、近隣市では、固定資産税に賦課していないところもあります。19年度、固定資産税への賦課割合が下がりましたが、今後も検討を重ねる必要があります。

### 反対討論

#### 賦課割合における

#### 資産割に疑問

高澤 栄子

近隣自治体と比較して、多可町は保険料算定の基となる賦課割合における資産割合が高い。医療給付と保険料負担のバランスや被保険者間の公平化という観点、(固定)資産割に関係ない世帯が国保加入者の30%を占める多可町の現状からも、資産割は廃止するか、もっと低くするべし。

### 賛成討論

#### 引き下げへの努力は

#### 評価する

辻 誠一

国保税は、自公政府の庶民増税の影響でますます高くなります。この度の国保税改正では、年金生活者などの引き下げへの努力は評価できます。更なる引き下げに向けて、町として国にその責任を果たすよう強く要請することにも、引き続き引き下げに努力することを期待します。

### 19年度国保税の詳細

		18年度 → 19年度	支払う保険料に占める割合
医療分	所得割	6.18% → 6.30%	42/100 → 42/100
	資産割	36.50% → 32.99%	11/100 → 10/100 ( ↓ )
	平等割	22,000円 → 23,100円	12/100 → 13/100 ( ↑ )
	均等割	28,600円 → 28,600円	35/100 → 35/100
介護分	所得割	1.31% → 1.35%	42/100 → 42/100
	資産割	9.90% → 9.40%	11/100 → 10/100 ( ↓ )
	平等割	5,000円 → 5,200円	12/100 → 13/100 ( ↑ )
	均等割	10,000円 → 10,000円	35/100 → 35/100

資産割額の課税対象とならない世帯の増加の要因として  
 ・国保加入者と社会保険加入者が混在する世帯が増え、資産割額が課税されない世帯が増えていきます。(社会保険加入者が資産割課税対象者であれば、国保税の算定時に資

産割額は課税対象にはならないため)  
 ・民間も含めた借家が増え、課税対象とならない。などがあります。

## 総務

失敗は許されない  
大規模事業

4月25日・6月4日  
総務課

多可町職員の公益法人等への派遣等に関する条例(案)。社会福祉協議会へ職員を派遣するための条例整備。職員給与は町負担、勤務条件等は双方で取り決めますが、派遣先に合わせます。

委員意見：社協は独立法人なのに発足時のあいまいさを残しています。行革の意に沿わないやり方です。

町長答弁：社協運営を機能させるため、ベテランを配置せざるをえないと判断しました。

\*入札改革(公募型指名競争入札、制限付き一般競争入札へ移行)  
企画情報課

\*地域情報化計画について  
CATV全町拡大(共聴施設老朽化と地上デジタル放送への対応)。

\*バイオマスタウン構想  
木質チップ、剪定木枝等、廃油利用等に関する構想を19年度中に策定します。

委員意見：大規模事業が予想されません。役所仕事でできる事業ではありません。

ません。PFIを利用し、ビジネス志向の会社に任せるべきです。

教育委員会  
\*杉原谷小学校校舎大規模改造の件  
6月19日入札、6月25日本会議上程予定

工事費2億8,875万円  
\*加美温水プール改修  
19年度補正 調査設計委託料800万円

20年1、2、3月、21年の同時期、2回に渡る大規模工事を予定

\*八千代給食センターにて野菜カッターの刃こぼれ事故(5月25日発生)報告

\*松井小学校6年生集団ノロウイルス症状(陰性)、原因不明のまま終息。



こんな簡単な装置でバイオ燃料ができます

## 厚生

焼却処分は1割未満

容器包装プラ

6月1日に、4月より始まった容器包装プラ分別の状態を確認するため丹波市にある中間処理工場に行きました。

視察したのは、丹波市柏原町のリテック株式会社。平成10年頃に開業した柏原工場では、みどり園からの物のほか、大阪市や尼崎市など阪神間の資源ごみを中間処理していました。みどり園から運び込まれている量は、週に15t〜20tとのこと。

運び込まれた資源ごみは、  
①破袋機によってごみ収集袋から出され、②さらに小袋を破袋機で破り、③人手による破袋・選別を行い、④トロンメルと呼ばれる装置での選別を経て⑤さらに人手で最終的な選別を行い、⑥プラスチック圧縮梱包機で製品に。

選別されるものは、容器包装プラを入れて出すごみ袋が一番多く、次に小売店で出される買い物袋、植木鉢やハンガーなどの容器包装プラではないプラスチック製品。



容器包装プラスチックは小さくくだかれかたまりに

特徴的なのは、中身が残っているケチャップやマヨネーズの容器、油がついている物などです。

工場長の話によれば、大阪市から搬入されるごみの25%ほどがリサイクルできないものなのに対し、みどり園からの物は、10%ほどがリサイクルできないものとのこと。搬入された20tほどの資源ごみのうち、2tが燃えるごみとしてみどり園に返され焼却されていました。

## 産業 建設



もうすぐできる大河丘陵のラベンター園（加美区）

**産業振興課**

- \*大河丘陵ラベンター園整備事業  
活性化施設建設工事の変更について  
約672万円追加
- \*里山ふれあいの森づくり事業  
ラベンター園に隣接する天然林の整備（県事業）
- \*エネルギー公園整備事業（風力発電施設整備）
- ゼロエミッションの実践……循環型社会の形成に向けての事業（県事業）

\*農地・水・環境保全向上対策

この対策は5カ年のものです。遊休農地、荒廃農地が増え、農業水路、農道、ため池、畦道等の管理、保全が困難な状況にあり、これに助成金を交付します。

田 一反………4, 400円（年）  
畑 一反………2, 800円（年）

\*村づくり交付金事業実施計画策定業務

ほ場整備、農道、水路、ため池等の整備。

これまでの集落からの要望を土台に計画策定します。

### 建設課

多可町幹線道路網検討委員会の提言

（仮）山野部坂本線、加美八千代線、川東線、川東・中町東線連絡線の整備が必要です。

特に3区連携の視点から、山野部坂本線がもっとも有効です。

川東線の整備については、北部の未整備区間も含めた一体的な整備が必要で

す。加美八千代線は県で整備します。多可町の幹線道路の整備を進める上においては、県と十分協議をします。

## 行政 改革

### 多可町行革プラン、入札制度改善、各指定管理施設を調査

#### 多可町集中改革プランの実施

事務事業の再編・整理・統廃合等関連する9項目・職員の管理および能力開発等関連6項目・行政サービスの実践および公共施設の運営等関連6項目、合計21項目からなる改革プランの具体策が実施されます。

#### 入札契約制度の改善について

公共工事の発注をめぐる汚職談合が全国で発生しており、入札、契約の更なる適正化が求められています。本町でも透明性・公平性・地域経済の活性化・更には経費削減を促進する観点から「公募型一般競争入札」の対象工事金額の引き下げ、また「制限付き一般競争入札」導入等入札制度改善が実施計画されています。

一方、電子入札の導入等々解消すべき課題もあります。委員から「官製談合防止策」は勿論、「経費削減目標」も設定すべきとの意見が出されました。

#### 指定管理施設の現地調査報告

調査箇所は以下5施設で、

①エコミール加美②ふれっしゅあくり館③マイスター工房八千代④エアレーベン八千代⑤ココロン那珂です。調査項目は以下の3点で、・業務運営状況・収支状況・経営改善への取り組み状況です。

各施設において、施設長以下必死の取り組みをされている施設もあり、有意義な調査でした。全体を通じて、責任者、スタッフ自らが『自社』の強み弱み・置かれている立場を十二分に把握分析し、新商品開発、お客様確保等改善に向けた施策を徹底して実施されている施設、事業所が今後共「支持・支援」に値するものと認識で一致しました。



雰囲気も変わってきた温水プール（加美区）

## 中核病院構想は 医療難民を生む

### 前向きに議論する場を

医師不足から、神戸大学が各病院の合併を提案している。各病院訪問での意見交換では、地域に高度な最先端医療を提供するスーパー病院ができて

も、患者の多くは受け入れられず、医療難民が生まれるのでは、と心配している。既に公立病院の統廃合を実施した地域では、統合に参加しなかった病院には医師が残らず、結果、地域医療崩壊の危機を迎えている。この様な構想に早々と賛意を示すのは間違いでは。

### 町長

研修医制度の変更により、県

下においても医師不足、勤務医不足の状況が顕著になっている。北播磨地域においても現状のままで市民病院、公立病院を存続させることは不可能という認識を各病院は持っている。今回の神戸大学の提案は、厳しい課題ではあるが、北播磨の医療を前向きに議論する場ができ、その中で好ましい方向を詰めていければいいと考える。

で拡充してはどうか。

### 現状維持で

### 今後の課題に

#### 子ども課長

母体や胎児の健康を確保する上で妊婦健康診査の重要性・必要性は高まっている。

少子化対策の一環として取り組めばという思いは同じだが、財政上の問題が大きく、今後の検討課題だと思う。

兵庫県でも今年度前期・後期健診費の交付負担を進めている。多可町では、前期・後期健診費用を、各1回上限1万5,000円を既に補助している。

### 妊産婦健診「無料」 5回に拡充を

#### 辻

中町赤十字病院の特徴の一つは産婦人科医が二名もいるということだと思う。厚生労働省は、妊産婦健診の2回の無料を、5回程度に増やすことが望ましいと市町村に通知を出している。

子育て世代の支援としても、中町赤十字病院の側面支援としても有効だと思うので、妊婦健康検査の無料化を5回ま



辻 誠一 議員

新米パパ・ママ お人形で沐浴の練習中です





大西多津子 議員

## 救急救命医療設備の

## 充実を

### 人命のためエリアを越えて

医療不足もここ多可町でも大きな問題で深刻である。

広域一部事務組合に添わない合併は、医療計画が空白であり、県も道路アクセスを見るとき、救急救命病院はどのように考えるのか。日赤は継続を考える療養型・リハビリを残すとすれば、小野市も統合には積極的であるため、機能を備えた病院を積極的に行政・議会も一丸となって、近場に対応できる姿勢を意志表示すべきでは。

### 町長

多可町で救急搬送が起こつて

も、日赤へ搬送する件数は1割前後である。初期の救急、2次救急ということも考慮して、体制を組まなければならぬ。また、加美区杉原谷地区が非常に時間がかかるという問題もある。長期に考える

と丹波市も含めた広域での医療を、中核病院構想で積極的に議論することも必要だ。

### 多可町の工業化を

### 考えるには

**大西** 若者の雇用拡大案として、工業団地を切望する声が多い。

企業誘致には人口規模と土地の利便性、アクセスを視野に入れて考えるべき。道路アクセスが悪いためコスト高になり、人口規模が少ないため労働力不足を招く。

本庁舎と健康福祉課（アスパル）との不便さの解消。パリアフリー化。都会ではない協議費の企業への請求を考えると、糞屋ダムの水利、産坂をトンネル化しないで、大型開発にはしては。

### 適地の調査を

### まず実施

### 町長

企業側に立てば多可町への進出というのは、非常にリスクを抱える。人員の確保、道路アクセスの悪さ、協議費の請求など様々な問題はあ。企業誘致は行政や住民にとっては利点が多いが、当方の意識の改革も必要なのかなと思う。



深刻な医療不足

町の財政力指数を上げるためにも企業誘致、既存企業への支援策が重要だ。そのためにも用地の確保が可能か、適地があるのか、事前に調査し把握する必要があると考える。

再度問う

コミバスの運行

必要な改変は積極的にする

路線の変更拡大と新ダイヤが組まれて7カ月余。拡大新路線には、新たな利用者もあるようだが、依然厳しい状態である。

国の助成事業と安易に捉えてはならない。将来に向けての論議を公共交通会議に委ねている。次回更新時21年3月末を見据えての論議は今まで以上に必要。

運行の形態、町営化、デマンド化、ルート利用者の絞り込み等調査、福祉タクシーとの住み分けを考えなければと思うが、100円利用料の理解を求める努力を。



安藤 弘 道 議員

町長

今後、交通弱者の方の足をどう守るかという課題が大きくなってくるだろう。その上で利用度をどうあげるか考えなければならぬ。



小 牧 勝 議員



ホームラン打つぞ！

青少年の健全育成に果たすスポーツの役割は

指導者にいつも感謝

現在、有志の町民の方々が自発的に無報酬で子どもたちの指導にあたっておられ、その姿は尊く、特に精神の伸び盛りの子どもたちに強い感動を与え、真の青少年教育者である。

しかし、全般的にスポーツ振興のための指導者のご苦労や、各団体の運営努力など町としては、どのように捉えられているのか。

教育長

スポーツ少年団・スポーツクラブの小学生の加入率は全児童の31%、男子だと50%以上がお世話になっている。

学校や家庭でできないことを、日々献身的にご指導いただいているリーダーの皆さんに、心から感謝しており、肝に銘じている。

これら活動に十分な支援ができていないことを承知しているが、町の財政的なことと受益者負担の観点から、今、補助金について言及できない。ただ、照明料金については、青少年の使用に限定して、減免を検討したい。



気軽に乗りましょう

**デマンドバス**  
基本路線の外に迂回ルートを設定し、利用者がいる場合に迂回ルートを走行するなど、デマンド（需要）に応じて弾力的なサービスを行うバスです。

運行コースについては、有効に活用されるよう変更も加えていかなければならない。  
デマンド交通の導入や福祉タクシーのあり方など、いろんな方策について、今後さまざまなに検討協議をしていきたい。



竹本克之議員

## 蒸気機関車に 思いをよせて

### より輝ける場所へ移転

加美区に33年前に国鉄より貸借された蒸気機関車に、国鉄と鳥取県若桜町から譲渡依頼がよせられた。加美区の各種団体や住民会議で討論が重ねられた結果、現状からすると移設も致し方なしとなった。涙をのんで気持ち良く送り出そう。

① 展示経過の尊重と評価を。  
② お別れイベントの実施を。  
③ 跡地に記念モノUMENTを。  
④ 若桜町との交流の実施を。  
以上の町長の考えを問う。

については綺麗にしてやりたい。

町長 今回の移設は、S.L.にとってはより光のあたる場所への旅立ちである。当時、誘致にご尽力された方々に改めて謝意を伝えると共に、住民の皆さんにも経緯を広報で報告していく。

また、S.L.が移転するまでに心のこもったお別れイベント、モノUMENT、跡地利用等も考えている。  
移転先となる鳥取県若桜町の皆さんとも、S.L.が取り持つ新しい交流が始まればと思う。



もうすぐお別れの蒸気機関車

# 中核病院構想には 慎重な対応を

## 北播磨にも目を向け議論を



高澤 栄子 議員

神戸大学が北播磨5市1町の首長や関係者に提案した中核病院構想。町長は「前向きに検討。構想には乗っていく」との見解を示されているが、多可町にどんなメリットがあると考えられているのか。

また、この構想では周辺病院のサテライト化も示されているが、それは病院が診療所化することではないのか。

多可町の北播磨における位置を第一に、医療過疎化していかないよう、本構想にはより慎重に対処されたい。

### 町長

「前向きに検討。構想には乗

っていく。」との発言は、北播磨の医療をみんなで考えていこうという、その思いの中でのコメントだ。当然に中町日赤の維持存続を一方で前提としてのものである。



身近に保健師さんがほしいですね！

医師不足の今、サテライト病院への医師派遣や、開業医との連携、救急医療の問題など、メリットよりデメリットをどう少なくするかという視点も大事であると考えている。

### なぜ、地域局から

#### 保健師の引き揚げを

高澤 これまで各地域局

と子ども課へ配属されていた保健師が、今年度は本庁に集約化されているが、その意図するところは何か。

住民の健康を守り、健康づくりをサポートする保健師の仕事は地域と密着している。地域局に保健師がいることは、

### 組織の総合力の発揮

住民と直接向き合うことになり、住民との関係もつくりやすく、健康も把握しやすいのではないのか。特に、健康福祉の分野では、物理的にも住民と距離が近いことが大事だ。

### 理事

町ぐるみ健診、各種子ども健診、予防接種など一度にたくさんの方が必要となるときに、それぞれ事業があり調整がつかず、総数では保健師は足りているが、実際は不足するという事態になる。これらを解消するため、一つの課に集約し、保健師が情報を共有する。

住民サービスの向上のため、組織の総合力を発揮し、弾力的な運営、スリムで効率的な体制で風通しのよい組織を目指す。



大西一好議員

## 文化財整備で

# 『元気づくり』拠点に

### 観光交流協会にも期待する11月

妙見山を中心に古くから文化の開花があったこの地域には数多くの文化財が埋没しており、こつした遺跡を掘り起こし、整備をして地域振興の活力となる「元気づくり」拠点とすることについて、

- ① 東山古墳群の残り四基の古墳の発掘調査・復元をすることについて
- ② 妙見山麓一帯の文化財の掘り起こしを
- ③ 田園空間博物館事業の多可町の位置づけと、町の活動状況は

## 町長

① 発掘調査は未実施である。

基礎資料のため発掘調査が必要であり、関係者との事前協議、調査終了後の整備、管理の方法や費用面を含め、全体的な見通しで検討の必要がある。

② 今年新たに取り組んでいる歴史街道推進事業の中で、歴史遺産、文化遺産などの資料収集、調査を始めた。中区でやっていたものを、加美区、八千代区へと広げていく。

③ 町内サテライトの登録数は109件。地域住民の方のサポートによって運営されており、観光交流協会と協同して振興をしてもらいたい。

## シカから農林産物を 守る手立てを

### 大西

稲や野菜の苗植え付けが終わわり、青々としている田畑でもっとも心配されるのは、シカがこれらの農作物を食い荒らし、被害を増大させることである。地元猟友会のボランティア駆除活動でお

世話になっているが、

① 平成18年度の多可町における被害状況と推定頭数は②平成18年度の駆除実績頭数は③ 国県との連携の中、今後の有害動物からの被害防止のための対策をどのようにするか。

## 実態の把握と 防止対策を考える

### 産業振興課長

① 農産物

では被害面積3・68ha、被害金額約470万円、森林では実被害面積30・5ha、約6、293万円の被害である。17年度末の兵庫県本州地域の生息数は42,000頭から68,000頭と推測されるが、実測数ではない。

② 18年度の狩猟期間外の駆除実績は72頭で、多可町猟友会



かわいいけれどね…！

駆除班にお願いしている。

③ 農林振興事務所や兵庫県森林動物センターの指導を受け、個体数管理、被害管理、生息地管理などを実施したい。

# 巨大病院 易々乗れる代物ではない

住民のために慎重に検討する



池田 義孝 議員

関係者協議資料から大きな疑問が湧く。答えてほしい。

- ①町に3次医療や高度医療研究所等、巨大病院機能維持に参加できる財力があるか。
- ②医師不足に乗じて自治体から資金を出させるための手法に思える。
- ③国も県も医師不足や偏在を放置できない。国・県一体となった機構であるべき。
- ④中町日赤は回復期リハビリ、亜急性期医療、緩和ケア、介護、療養のみしか受け持てない前提になっているが。

## 町長

①巨額な費用の問題、5市1

町で支えるにしては巨大すぎ、不可能である。県も出資する形でないと成功しない。

②利用されて自治体が巻き込まれているのではという思いも持つ。病院の焦りも感じる。

- ③この構想では神戸大学が主導権を持ち、県は関わっていないように思う。
- ④構想の論議をしていく中で、疑問を疑問とし、論議を尽くさなければならぬ課題である。

## 町の持つデータは積極的に開示

池田

このたびの年金問題には誰も怒り心頭である。

社会保険庁や国の責任ではあるが、かつては国民年金を町が集めていたわけだから、町民の不安を和らげるために町の持つデータを積極的に開示すべきである。不安解消に、できる限りの努力をしてもらいたい。



ご相談はお気軽にどうぞ

## 不安解消に

最善を尽くす

住民生活課長

多可町では、この問題が取り上げられる以前より、基礎年金番号登録を進めている。社保離脱、社保加入時の手続や転入・転出時は社会保険庁が管理する基礎年金番号等照合している。また、国民年金加入者の記録は保管しており、相談があれば、社会保険事務所にデータを確認後に開示している。社会保険庁と十分な連携を

取りながら、一人ひとりの相談に丁寧に対応し、町民の皆さんの不安解消に最善を尽くす。



廣畑 幸子議員



いろんなことにトライしています  
(トライやるウィークキッズランドやちよ)

# 最大のサービス産業を めざして

## 住民サービスに気を引き締めて

「これまでがこうだったから、これからもそれでいい」という認識は、行政体でも、もはや通用しなくなってきました。役場の意識改革が、強く求められる所以であるとの町長の言葉。しかし、民の感覚・考

え方とよく言われるが、実際どのように培われていくのかよく分からない。

職員対応のまずさなど、苦情も数多く届いているとの事。「役場は最大のサービス産業」の言葉とおりの役場をめざして、研修の具体的な計画を。

### 町長

5月から「町長ふれあい」と「」を開催している。お越しの方に職員の対応についてなど、苦情を多く聞く。その苦情を糧にサービスを向上させ、顧客に満足してもらいたいという思いを持っている。

業務関係では県町村会、播磨内陸広域行政協議会、自治研修所などの研修を行っているが、今後民間の研修も取り入れようと、今計画中である。

### 不安を少なくする ための努力を

廣畑 国民年金の保険料

納付記録である「被保険者名簿」を本町は保管してあるとの新聞記事を見て、ホッとしたところである。

しかし、不安を持っている方も多い。職員でさえも、対象者があった。

「気が付いたら未納になっていた。」なんて事は、とんでもないことである。

現在、チラシも出している

が、役場や地域局以外にも置くことを考え、少しでも不安を取り除いてほしいが。

### 適切な対応で 不安解消を

#### 町長

当時、国民年金の納付記録は役場には残さないう指導致されていた。たまたま結果として残っていたということで、住民の皆さんから相談があったときには、確認をすることになっている。

チラシについて、今は役場の受付窓口、地域局しか置いてないが、公民館、診療所、アスパル等公共施設の窓口にも置きPRしたい。

# 観光産業を育てよう

## 観光で元気な町づくりを



門脇幸澄議員

退職団塊の世代を地域に誘引し、多可町への95万人の入りに込み客への取り組みと観光産業の育成が重要な課題だ。静かな住環境と地域の歴史や文化的遺産を、グリーンツーリズムや今ある公共施設のコミュニティビジネスと結びつけて観光産業を育てよう。

①観光振興課を設置し、観光交流協会と協力体制を。  
 ②観光スポット情報発信や特産品のネット販売をやろう。  
 ③成功の鍵であるリーダーとサポーターの養成を急げ。

### 町長

①新たなコンセプトで観光産業を育てるには、有能な人材を育てなければならない。多可町観光交流協会が設立され、この協会が大きな役割を担っており、大いに期待している。

②ブランド化した特産品、観



多可町の観光産業を育てよう

光スポット等インターネットで情報発信をする。そしてネット販売をしていくということ。は、旧町でそれぞれ取り組んでいたと思うし、この方向で進んでいけると考える。

③旧町でやってきたリーダーづくりを、観光交流協会とも連携を取り前向きに検討する。

### 行財政改革の

### PDCAの徹底を

門脇 財政危機をもっと

真剣に受け止め、自らの合理化と自助努力により、財政再建のために各事業のP（プラン）D（執行）C（チェック）A（改善）を徹底せよ。

①職員適正化計画は毎年200人以上の人口減が見込まれておらず不十分だ。3年間の

### 適正な行政執行に

#### 各担当課長

①定数が極端に少なくても、調整をする中で適正な削減計画を組んでいきたい。

②ラベンダー園は、2つの事業で対応し、総額5億円強になっている。温水プールは、改修のため、調査費・設計費合わせて800万円を計上している。棚田の展望台は、地元よりもむしろ都会から来られる方の要望があり、効率的で簡便なものがないと考えている。

職員不補充を実施すべきだ。

②木質バイオマスの稼働日数、ラベンダー園にかかった総費用、温水プールの改修費、岩座神の棚田保存の展望台などの計画の詳細を公表し改善を。



清水俊博議員

## 地元要望に対し 素早い対応を

### 必要度、緊急性にあわせて

合併以来1年7カ月が経過し、各村には数多く課題がある。道路補修等々地元要望などは、質量共に増加傾向にあり、かつ多種、多様である。安全安心のため速やかな解消、措置が求められることはいつまでもない。

速やかな解消への手立て、方策はどう講じられるのか。  
・受付件数、内容並びに金額  
・年度別解消計画並びに予算額  
・工事規模別解消方法等具体策

### 副町長

各集落から集落要望5カ年計画と平成19年度要望分の提出をいただいている。

平成19年度分の受付件数は272件で、金額については協議も整っており、数量も確定しない案件も多く、回答

できる段階ではない。

19年度要望のうち当初予算で計上しているのは128件で、47%。一般会計総予算の1%以内となっている。

事業の必要度、緊急性とあわせ事業の費用対効果、後年度への財政負担の影響等を考慮して事業を選択する。

### 再び問う

### 真に必要とする情報化

清水 民間活力をより多く活用し、導入するCATV等情報化計画。初期費用はもちろん、特に維持運用費等トータルとしての「持続可能」な内容でなければならぬ。維持運営に毎年2億円が必要とされる大型プロジェクト。

導入に当たっては、十二分に精査し慎重の上にも慎重であるべき。2011年を目前にした今、その具体策を問う。  
・維持運用方法の具体策は  
・競争原理が働くシステムは  
・介護医療システム等将来への対応は

### 必要な情報を 提供できるように

### 企画情報課長

・自前方式で整備した場合、3億7、800万円、民間借上方式の場合2億3、900万円となる。

・テレビ放映は、公設公営で整備運営を行い、インターネットについては、民設民営で行



全町で早くCATVを！(カメラマンにトライ消防署へ)

う計画で進めている。  
・アンケートでは、ホームセキュリティサービスの希望が多く、ほかに高齢者安否確認や在宅ケア支援サービスの希望がある。将来多可町全域にブロードバンド環境のインフラ整備が不可欠であり、対応していきたい。

# さわやか インタビュー

お母さんのお手伝い それとも……！



7月4日に、加美区丹治にある「ふれあいセンター」で開かれています「ともだち広場」に、広報委員がおじゃましました。

「七夕イベント・おみせやさんごっこ」準備中のお母さん方に、お話を聞きました。

**問** 同居のいいところは  
**答** やはり、子どもを預けられることですね。急な用事ができた時など、助かりますね。

**問** 今、困っていることは  
**答** やはり、病院ですね。近いところは診療日を考えて連れて行かなくてはいけないし、特に夜間は困ります。

**問** 合併して何か思うことは  
**答** 保育料が高くなりましたね。

・保健センターをもっと有効に活用すればいいと思います。

**問** 気になること、関心のあることは

**答** 乳幼児医療は3年生まで無料になっていますが、6年生まで延長してほしいです。  
・公園ですが、年齢の低い子ども用の遊具がほしいですね。例えば、低い滑り台とか、ベルト付きのブランコなど。

それにトイレのない公園も多いので困ります。

・木陰もたくさんほしいですね。

・学童保育の定員をもっと増

やしてほしいです。そして、困っている人には、急なときでも受け入れることのできる体制を作ってほしいですね。  
・ファミリーサポートも考えてほしいです。

**問** 議会だよりにご意見を  
**答** 子育てに関する記事には目を通します。でも全ては読んでいないですね。

**問** 議会に対しては

**答** 議会や議員さんの仕事は、あまり分からないですね。こういう機会を大事にしたいですね。議員さんも範囲が広くなって大変ですね。

活発な活動をされているお母さん方。和気あいあいとした中で、自分たちの持てる力を発揮して、友達の輪を広めながら、いろんなことに挑戦されていました。

議会のことをもっと分かっていたらできるよう、分かりやすく読みやすい広報づくりにこれからも努力していきます。ご協力くださったお母さん方、ありがとうございました。

## 編集後記

うつつとうしい梅雨も明け、いよいよ夏本番です。七夕、夏祭り、キャンプと、村の行事も盛りだくさんだと思います。

しかし、7月には思いがけない台風4号が、また16日には新潟県中越沖地震が起きました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興をお祈りいたします。

今回、押し寄せる医師不足の問題をいろんな視点で4人の議員が質問しました。また不安が広がる年金問題も2人の議員が質問しました。

「住民の声を大切にをモットーの行政」を目指し、チェック機能として、また町へのパイプ役として私たちががんばっております。

議会だよりにも、皆様のご意見をいただきたいと思っております。

まだまだ、暑さ厳しい季節です。皆様くれぐれもお身体ご自愛くださいますように。